



一般社団法人 電波産業会

Association of Radio  
Industries and Businesses

No.1264 2021 年 5 月 24 日

### 5 月 15 日～6 月 15 日は「情報通信月間」です

2021 年度の情報通信月間は、「デジタル変革をもたらす『社会』と『地域』の新時代」をテーマに、情報通信の普及・振興を図ることを目的として実施されます。ARIB は、情報通信月間行事として「電波の日記念講演会（6 月 4 日）」（オンライン配信、Web にて申込受付中）、「周波数資源開発シンポジウム 2021（7 月 9 日）」（予定）を開催します。

### ARIB の動き

#### DiBEG「次世代放送検討国対応タスクフォース」 日本 ITU 協会賞 奨励賞を受賞

「2021 年度 日本 ITU 協会賞」受賞者・団体が公表され、DiBEG（デジタル放送普及活動作業班）の「次世代放送検討国対応タスクフォース（主任：NHK 技研 神原浩平氏、副主任：ソニー(株) 磯部隆俊氏、他）が奨励賞を受賞することになりました。贈呈式は、当初「世界情報社会・電気通信日」（5 月 17 日）に举行される予定でしたが、新型コロナウイルスに伴う緊急事態宣言の影響で、10 月に延期されています。

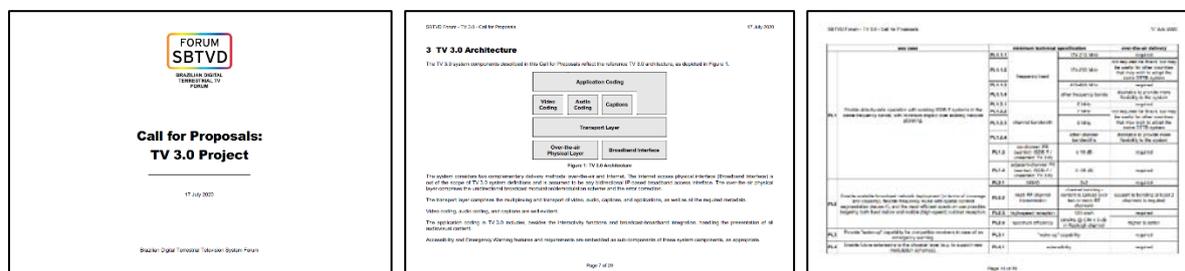
#### 1. 受賞理由

地上デジタル放送日本方式（ISDB-T）採用国、特にブラジルでの次世代地上デジタルテレビジョン放送に向けた検討に対応し、日本国内で開発中の次世代地上デジタル放送技術に基づく知見を共有したことが評価されました。両国の技術的な連携の強化に貢献するとともに、相手国における放送分野の発展に寄与するなど、今後も継続的な活動が期待されています。

#### 2. 次世代放送検討国対応タスクフォースの実績

ブラジルでは、地上デジタルテレビジョン放送（ISDB-T）の高度化をめざし、次世代地上デジタルテレビジョン放送に向けた検討を進めています。昨年（2020 年）7 月、ブラジルの地上デジタルテレビジョン放送の規格を所掌する SBTVD-F が TV3.0 と称し世界の各団体、企業等に提案募集（Call for Proposals）を実施しました。DiBEG では「次世代放送検討国対応タスクフォース」が中心となり、日本国内で開発中の次世代地上デジタル放送技術に基づく知見の共有・提案を行い、現在もなお、対応を進めています。

現時点での情報では、ブラジル側は、今年末までに世界の各団体、企業等から寄せられた各提案の評価を総括し、来年（2022年）9月頃を目途に SBTVD-F が「次世代地上デジタルテレビジョン放送」に関する規格書を公表する予定です。



SBTVD-F が公表した“TV3.0 Call for Proposals”から抜粋

## 第 284 回 業務委員会を開催

第 284 回業務委員会を開催しました。

1. 日 時 : 2021 年 5 月 19 日(水)15 時 30 分から 16 時 50 分まで
2. 場所・形態 : Web 会議
3. 議 題 :
  - (1) 第 32 回理事会の開催（予定）について
  - (2) 第 116 回規格会議の結果について
  - (3) APG-23 第 2 回会合の概要について
  - (4) 日中韓情報通信標準化会議 IMT WG 第 61 回会合概要について
  - (5) ITU-R WP5A 第 25 回会合における ITS 関係の概要について
  - (6) 日本 ITU 協会賞の受賞について
  - (7) 各社からのトピックス
  - (8) その他

## 今週の ARIB 内会合（5 月 24 日～5 月 28 日）

- |   |        |
|---|--------|
| 5 月 25 日（火）：デジタル放送システム開発部会 次世代音声符号化方式検討 JTG | Web 会議 |
| 5 月 26 日（水）：第 297 回技術委員会（放送分野）              | Web 会議 |
| 5 月 26 日（水）：スタジオ設備開発部会 スタジオ映像作業班            | Web 会議 |
| 5 月 26 日（水）：スタジオ設備開発部会 音声品質評価法作業班           | Web 会議 |
| 5 月 27 日（木）：第 32 回理事会                       | Web 会議 |

## 今週の国際会合（5月24日～5月28日）

参加を予定している会合はありません。

### 総務省からのお知らせ

#### 無線設備規則の一部を改正する省令案等に係る意見募集 —60GHz帯の周波数の電波を使用する無線設備の多様化等に係る制度整備— 【令和3年5月14日発表】

総務省は、60GHz帯の周波数の電波を使用するパルス変調方式の広帯域センサーの導入及び同報通信方式の小電力データ通信システムの導入等に必要な制度整備を行うべく、60GHz帯の周波数の電波を使用する無線設備の多様化等に係る無線設備規則の一部を改正する省令案等を作成しました。

当該省令案等に対して、令和3年5月15日（土）から同年6月14日（月）までの間、意見を募集しています。

#### [背景]

FMCW方式のセンサーは、検知距離を比較的長くできる、距離と速度を同時に検知可能であるといった利点がある反面、センサー同士の干渉が起きやすいことや、無線装置としての消費電力が比較的高いといった欠点があります。そのため、今般、広帯域センサーの更なる用途拡張のため、センサー同士の共存性に優れ、無線装置としての消費電力が比較的低いといった利点のあるパルス変調方式の広帯域センサーの導入に必要な技術的条件について検討が進められ、令和3年3月30日に情報通信審議会から一部答申を受けました。

当該答申の内容を踏まえ必要な制度整備を行うべく、電波法関係省令及び告示の改正案を作成しましたので、意見募集を実施するものです。

詳細については【[令和3年5月14日の総務省報道資料](#)】をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS  
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-1 日土地ビル11F  
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103  
<http://www.arib.or.jp> E-mail [arib\\_news@arib.or.jp](mailto:arib_news@arib.or.jp)